

パネルディスカッション 遠隔授業の「過去・現在・未来」

—with コロナ時代の教育実践—

1 開催趣旨

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応による臨時休校に伴い、急遽全国で遠隔(オンライン)授業が導入されました。このオンライン授業により「不登校対策に効果」「学力差が拡大」「教員負担が増大」などの断片的報告があります。今後、COVID-19 対応による臨時休校の懸念や GIGA スクールによるオンライン授業の拡大を見据えた時、この3月から5月に行われたオンライン授業の実践の検証は急務ととらえ、本パネルディスカッションを開催します。

今回のパネルディスカッションは、主に三重県内の初等中等教育(小中学校・高校)で行われた教育実践を確認し、子どもたちへの教育効果等を検証したいと思います。そして今後、ごく普通の学校でICTを活用したオンライン授業において、よりよい教育実践ができる基礎的資料を提供できるようにしたいと思います。

2 開催日時 令和2年8月1日(土) 14時~16時

3 開催場所 オンライン(ビデオ会議アプリ Google meet 利用)で行います。

参加の場合 パソコンをお使いになられる場合:web ブラウザ Chrome が必要。

スマホ、タブレットをお使いになられる場合は GoogleMeet アプリが必要。

参加の場合 パソコンをお使いの場合:WEB ブラウザ Chrome が必要。

スマホ、タブレットをお使いになられる場合:Google meet アプリが必要。

4 対象 教職員、大学生、一般

5 参加費及び定員 無 料 / 100名以内

6 申込 Google form にて受付

本学ウェブサイトまたは右記 QR コードより申し込んでください。

申し込まれる際には、Google のアカウントが必要になります。

申し込みの確認後、meet の会議アドレスをお送りします。

7 主催 鈴鹿大学子ども教育学部

8 後援 三重県教育委員会、津市教育委員会

9 プログラム(予定)

14:00—14:05(5分) 挨拶 川又 俊則(鈴鹿大学副学長、子ども教育学部長)

14:05—14:30(25分) 基調講演 教育の質向上とICTの活用—遠隔授業のこれまでとこれから
山路 克文(鈴鹿大学子ども教育学部教授/社会福祉学)

14:30—14:45(15分) 中学校の実践報告 「動画配信の効果と課題」

林敬一郎教諭 津市立東橋内中学校

14:45—15:00(15分) 高等学校の実践報告 「名張青峰高校とICT」

向山明佳教諭 三重県立名張青峰高等学校

15:00—15:15(15分) 小中学生の意識調査から「子どもたちが望む遠隔授業の在り方」

伊東 直人(鈴鹿大学子ども教育学部教授/学校経営)

15:15—15:30(15分) 大学での遠隔授業と学生の実践・満足度について

犬飼 和夫(鈴鹿大学子ども教育学部講師/情報教育)

15:30—15:55(25分) パネルディスカッション:遠隔授業の「過去・現在・未来」

司会:川又、パネリスト:山路、林、向山、伊東、犬飼)

15:55—16:00(5分) まとめ 川又 俊則



教職員・学生・一般
参加申し込み



メディア関係者
参加申し込み

注:上記 QR コードを読み込んでも、申し込みができないなどの不具合が起きる場合があります。(スマホの機種やバージョンによって起きる場合があります。)その場合は、下記連絡先のメールにて直接お申し込みをしてください。



鈴鹿大学子ども教育学部
イメージキャラクター
よるこびちゃん

問い合わせ先 鈴鹿大学総務・財務課 (059-372-2121、soumu@suzuka.ac.jp)

Eメールで、お申し込みの場合 タイトル「パネルディスカッション参加」
所属、お名前、返信用メールアドレスをお知らせください。